

## I. 令和6年度 重点目標への評価

### 1. 感染症対策強化

感染症は大規模なクラスターにはならなかったが、秋に同ユニット内で入居者7名、職員1名のコロナ感染があった。いずれも大事に至らず収束したが、その他にも、感染経路が特定できないコロナ罹患が単独で発生することがあり、年間を通して感染症が発生するリスクがあると再認識した。

日常の感染対策は継続して行っており、また発熱者や嘔吐者への初動対応も周知徹底に努めた。

また、年2回のシミュレーション訓練も実施し、BCPやマニュアルの見直しにも取り組んでいる。

### 2. 防災対策の推進

防災訓練を年3回実施し、都度訓練の振り返りを行うことで連絡体制や備品の使い方等、見直しが必要な部分を確認することができた。またBCPの読み合わせや机上訓練も実施し、ブラッシュアップに努めた。

### 3. 拘束ゼロ・虐待防止への取り組み

拘束ゼロ委員会、虐待防止委員会を隔月交互に開催し、各フロア・部署で不適切なケアや困難事例がないか、話し合いを重ねた。また、社会的に言われているグレーなケアについても議題として取り上げるようにしている。

内容については、各フロア・ユニット会議で情報共有・周知していった。

### 4. 口腔衛生管理

協力医療歯科による通常の歯科往診のほか、個人の状態に合わせたケア方法についても指導いただき、ケアに活かしてきた。また、年2回は口腔衛生管理計画として歯科医師からの助言をもとに実施目標を立て、リーダー会にて取り組みへの周知を図った。

令和7年度からは協力医療歯科が変更となり、新たに口腔衛生管理加算も取得することから改めて口腔衛生管理の取り組みを充実したものにしていきたい。

### 5. ICT導入と職員の働きやすさへの取り組み

6年度に新たなICT機器の導入はできなかったが、職員の動線や入居者の快適な生活を目的に、従来型特養の一部をレイアウト変更し、リビングを増床することができた。これまで狭かったリビングが広くなり、見守りのしやすさや入居者の移動がスムーズになるなど、生産性向上にもつながる結果となった。

ICT導入については、デモや研修の機会を設け、施設の状況に合ったものを導入できるようにしていきたい。

## Ⅱ. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)

### 1. 利用者の状況(令和6年3月31日現在)

#### (1) 年齢構成

単位: 人

	男性		女性		全体	
	従来型	ユニット	従来型	ユニット	従来型	ユニット
60～64歳	0	0	0	0	0	0
65～69歳	0	0	0	0	0	0
70～74歳	2	0	1	0	3	0
75～79歳	0	3	6	2	6	5
80～84歳	2	4	10	5	12	9
85～89歳	4	2	13	8	17	10
90～94歳	4	2	9	5	13	7
95歳以上	0	1	7	6	7	7
	12	12	46	26	58	38

定員: 100名

(従来型60名、ユニット型40名)

年度末在籍者数: 96名

平均年齢

単位: 歳

	従来型	ユニット
男	85.2	85.3
女	86.7	89.4
全体	86.41	87.4

#### (2) 要介護度別内訳

単位: 人

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
従来型	0	2	14	28	14	58
ユニット	2	2	12	13	9	38
合計	2	4	26	41	23	96

要介護度平均: 3.8 従来型(3.9)、ユニット(3.7)

#### (3) 日常生活動作の状況

令和6年3月31日現在、在籍者の調査結果

##### 〈食事動作〉

単位: 人

	自立	一部介助(声かけ)	全介助	胃ろう	合計
従来型	10	32	16	0	58
ユニット	4	20	14	0	38
合計	14	52	30	0	96

※胃ろうの注釈は経口と胃ろう併用の方

##### 〈入浴動作〉

	自立	一部介助(声かけ)	全介助	合計
従来型	0	22	36	58
ユニット	0	16	22	38
合計	0	38	58	96

##### 〈排泄動作〉

	自立	一部介助(声かけ)	全介助	合計
従来型	5	22	31	58
ユニット	3	18	17	38
合計	8	40	48	96

##### 〈歩行動作〉

	自立	一部介助(声かけ)	車椅子使用		合計
			自操	介助	
従来型	2	10	10	36	58
ユニット	4	5	6	23	38
合計	6	15	16	59	96



#### (4) 家族状況

##### 身元保証人

	子ども	配偶者	子の配偶者	兄弟	甥姪	親戚	後見人	孫	なし	合計
男性入居者	17	2	0	0	2	1	2	0	0	24
女性入居者	51	7	5	4	2	0	3	0	0	72
合計	67	9	5	4	4	0	4	0	0	96

※後見人は保証人がいる入居者も含む

#### (5) 保険者状況

南足柄市	41	開成町	17	山北町	6	松田町	8
大井町	4	小田原市	10	秦野市	2	川崎市	1
箱根町	1	熱海市	1	御殿場市	1	飯田市	1
伊東市	1	三鷹市	1	郡山市	1	合計	96

#### (6) 負担限度額認定対象者

	1段階	2段階	3段階①	3段階②	合計
従来型	2	9	8	10	29
ユニット型	0	0	5	9	14

#### (7) 入退居状況

	入居	入居前状況							
		自宅	老人保健施設	病院(うち療養型)	療養型病院	グループホーム	ロングステイ	軽費	特養
従来型	21	7	4	2	0	0	5	0	3
ユニット	24	4	4	4	2	1	9	0	0
合計	45	11	8	6	2	1	14	0	3

	退居	退居内訳			
		永眠	長期療養	他施設	自宅
従来型	20	16(14)	3	1	0
ユニット	18	12(10)	5	0	1
合計	38	28(24)	8	1	1

※永眠( )内の人数はターミナルケアに同意の上、施設で看取った人数

令和6年度は38名が退居し、45名の新規入居者を受け入れた。

退居の方のうち、24名はターミナルケアへの同意をいただき、施設で看取っている。

空床を減らすことを意識して面接、入居日程調整を行ったり、当施設でのコロナ発生に伴う感染症対策や、入居者側のコロナ発生等で、一時期受け入れを延期していた時期もあったが、空床期間を減らし利用率をある程度維持することができた。ただ、空床期間が長いケースも多く、次年度に向けて改善を図っていく。

#### (8) 面会者状況

面会時間は1回30分とし、感染対策への協力をお願いしている。看取り期の方については、通常の時間以外でも面会ができるようにし、入居者への関わり方についても臨機応変に対応した。

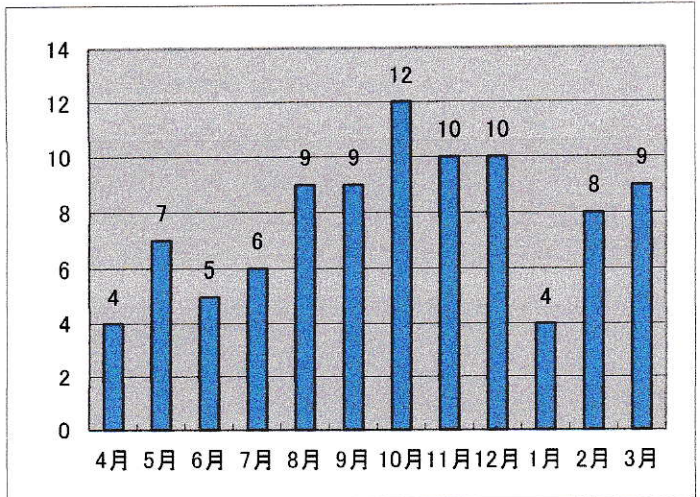
面会中は外気浴や周辺の散歩なども可としているため、歩行訓練や気分転換など、協力をいただくことができている。

## (8) 受診記録

月別受診者数 (※往診含まず)

【 】=前年度

月	予約受診者数 (定期・再診等)	臨時受診者数 【※右グラフ】	受診者総数
4月	6	4	10
5月	13	7	20
6月	11	5	16
7月	11	6	17
8月	12	9	21
9月	16	9	25
10月	13	12	25
11月	16	10	26
12月	14	10	24
1月	13	4	17
2月	16	8	24
3月	13	9	22
合計	【162】154	【64】93	【226】247



病院別受診者数

病院名	R5年度	R6年度
大内病院	10	31
北小田原病院	33	14
足柄上病院	69	54
その他の病院	11	49
その他の医院や クリニック	103	99
合計	226	247

嘱託医往診による施設での死亡診断数

【 】=前年度

月	診察人数	月	診察人数	合計
4月	1	10月	6	24 【23】
5月	1	11月	2	
6月	4	12月	1	
7月	0	1月	3	
8月	1	2月	2	
9月	0	3月	3	

受診科の内訳

【 】=前年度

月	内科系	外科系	精神科	皮膚科	その他
4月	8	0	1	0	泌(1)
5月	13	1	1	3	泌(1)、眼(1)
6月	8	2	1	0	泌(3)、眼(2)
7月	8	3	1	2	泌(1)、眼(2)
8月	11	2	2	2	泌(2)、眼(2)
9月	13	6	3	1	泌(1)、眼(1)
10月	13	5	3	0	泌(2)、眼(1)、耳鼻(1)
11月	10	6	2	2	泌(4)、眼(2)
12月	8	11	1	1	泌(3)
1月	6	6	0	3	泌(1)、眼(1)
2月	11	9	0	2	泌(1)、眼(1)
3月	11	6	0	3	泌(1)、眼(1)
合計	【98】120	【33】57	【43】15	【19】19	泌(21)、眼(14)、耳鼻(1) = 36
比率	【43%】49%	【15%】23%	【19%】6%	【8%】8%	【14%】15%

(※外科系…一般外科・整形・脳外・形成)

○月別受診者数について… 定期・再診数は、前年度とほぼ変わりは無かった。臨時受診が約30件多く、急な体調変化での受診が多かったと言える。その増加に伴い総数も増えている。

○病院別受診者数について… 大内病院への受診が20件増加。9月までの受診はほぼ無いが、後半に転倒等での外科系受診が多かったり、消化器内科の再診が続いたことで数が増えている。  
『その他の病院』では、小田原市立病院が49件中30件を占めていた。入居前から受診していて、再診のケースも多かった。

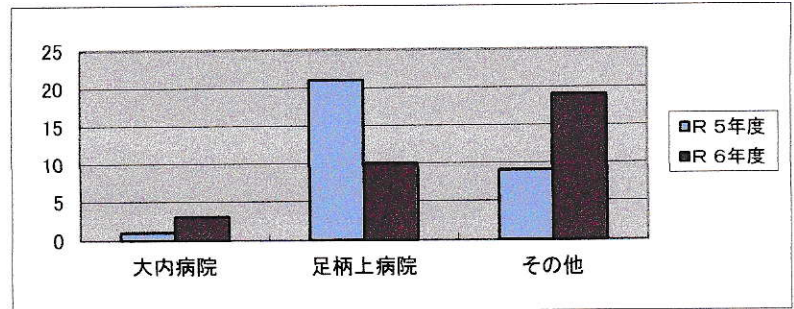
○受診科の内訳より… 内科・外科ともに20件以上増えている。特に12月の外科の受診数が多く目立つが転倒による外傷・骨折・痛みの増強などで再診も多かった状況であった。  
精神科受診は、受診していた対象者が減り、43件から15件と大幅に減っている。



## (9)入退院記録

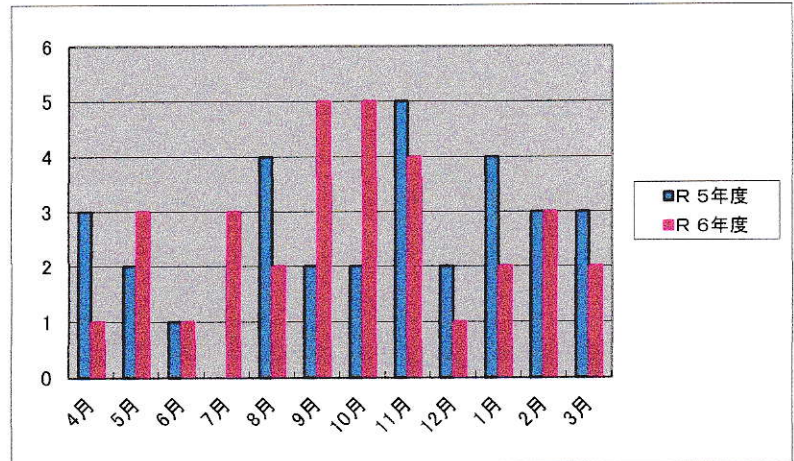
### 病院別入院者数

病院名	R 5年度	R 6年度
大内病院	1	3
足柄上病院	21	10
その他	9	19
合計	31	32



### 月別入院者数

月	R 5年度	R 6年度
4月	3	1
5月	2	3
6月	1	1
7月	0	3
8月	4	2
9月	2	5
10月	2	5
11月	5	4
12月	2	1
1月	4	2
2月	3	3
3月	3	2
合計	31	32



### 年間の入院日総数

R 4年度	579日	R 5年度	799日	R 6年度	796日
-------	------	-------	------	-------	------

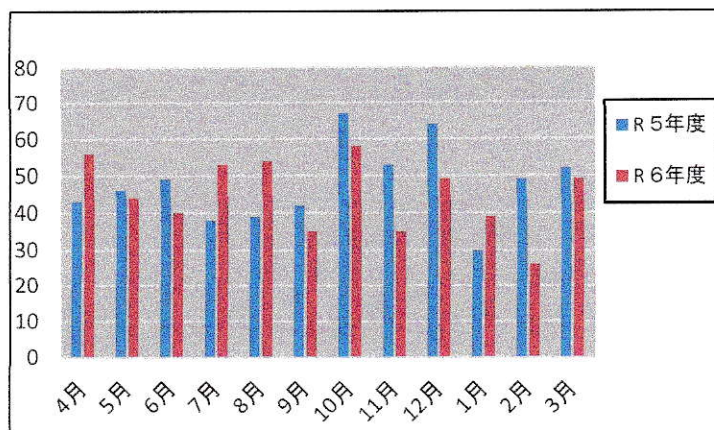
○病院別入院者数について・・・ 協力病院である大内病院の受診者数は増加したが、内科系の受診は少なく入院になるケースは昨年同様に少なかった。入院者総数はほぼ前年度と変わらないものの、入院先の足柄上病院の入院数は半減、逆にその他の病院への入院が倍増している。救急搬送等の搬送が少なくなった影響も感じられた。

○月別入院者数について・・・ 9月・10月は5件で多い。両月ともに、救急搬送が4件と多く、入院数を引き上げたことが分かった。疾患からは季節感は感じられなかった。

○入院日総数について・・・ 前年度とほぼ変わらない日数であった。令和7年度は、嘱託医も大内病院の医師に変更となるため、受診や入院場所が大内病院になるケースが増えてくる事が予想される。注意して経過を見ていきたい。

## (10) 歯科往診

月	R5年度	R 6年度	受診回数 (1回の平均 診察数)
4月	43	56	5回(11.2人)
5月	46	44	4回(11.0人)
6月	49	40	4回(10.0人)
7月	38	53	4回(13.3人)
8月	39	54	4回(13.5人)
9月	42	35	3回(11.7人)
10月	67	58	5回(11.6人)
11月	53	35	4回( 8.8人)
12月	64	49	4回(12.3人)
1月	30	39	4回( 9.8人)
2月	49	26	3回( 8.7人)
3月	52	49	4回(12.3人)
合計	572	538	



○歯科往診について… 歯科医師による義歯調整や虫歯治療、歯科衛生士による口腔内清掃も実施してもらっている。数値からもわかるように、毎週多くの入居者を診てもらっており、口腔衛生に関しては取り組めていたと感じる。  
令和7年度は協力歯科医院も変更になる事から、その動向を注視していきたい。

## (11) 訪問マッサージ

入居者・家族からの要望の他、身体状況の維持を図る目的で、外部の訪問マッサージ師を導入している。導入後も利用者の状態や、普段の生活での留意点がないかなど、適宜確認できる状況である。

今年度も、施設内での感染症対応で、時折お休みとなる日もあったが、前年度よりはその頻度は減り、長期間のお休みにもならず良かったと思う。今後も身体機能を少しでも維持できるように継続的な対応をしていきたい。

## (12) 健康管理について

- ・体調変化については嘱託医や家族への連絡・相談の関わりや、多職種間で入居者の身体・精神面の情報を共有し、適した対応ができるよう配慮してきた。
- ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の罹患者は発生した。5類対応となった後も、未だ感染症の話は耳にする状況であり、今後も注視して情報収集に努め、感染症対策を継続していく。
- ・年に一度の健康診断、新型コロナワクチン接種・インフルエンザワクチン接種を実施した。

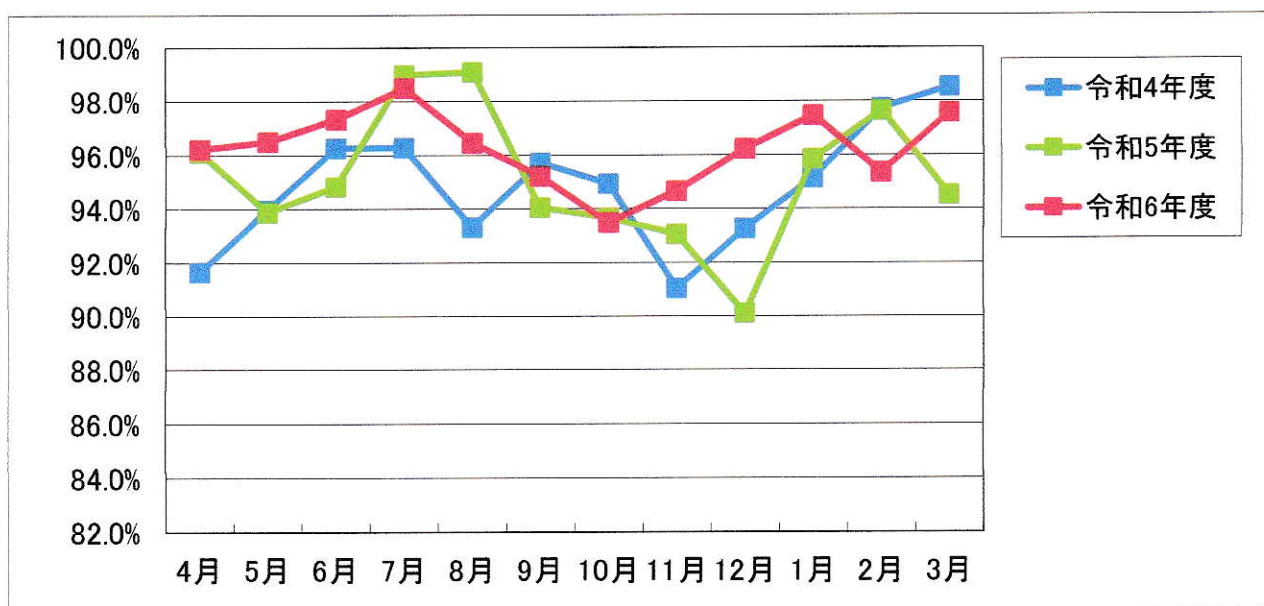


## 2. 特別養護老人ホーム利用状況

### 《 従来型 》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和4年度	1650	1748	1733	1791	1736	1723	1766	1639	1735	1770	1642	1833	20766	1731
	91.7%	94.0%	96.3%	96.3%	93.3%	95.7%	94.9%	91.1%	93.3%	95.2%	97.7%	98.5%	94.8%	94.8%
令和5年度	1730	1746	1707	1841	1843	1693	1742	1675	1676	1783	1699	1758	20893	1741
	96.1%	93.9%	94.8%	99.0%	99.1%	94.1%	93.7%	93.1%	90.1%	95.9%	97.6%	94.5%	95.1%	95.1%
令和6年度	1732	1795	1752	1832	1794	1714	1739	1704	1790	1813	1602	1815	21082	1757
	96.2%	96.5%	97.3%	98.5%	96.5%	95.2%	93.5%	94.7%	96.2%	97.5%	95.4%	97.6%	96.3%	96.3%
前年比	2	49	45	-9	-49	21	-3	29	114	30	-97	57	189	16
	0.1%	2.6%	2.5%	-0.5%	-2.6%	1.2%	-0.2%	1.6%	6.1%	1.6%	-2.3%	3.1%	1.1%	

※R5.2閏年

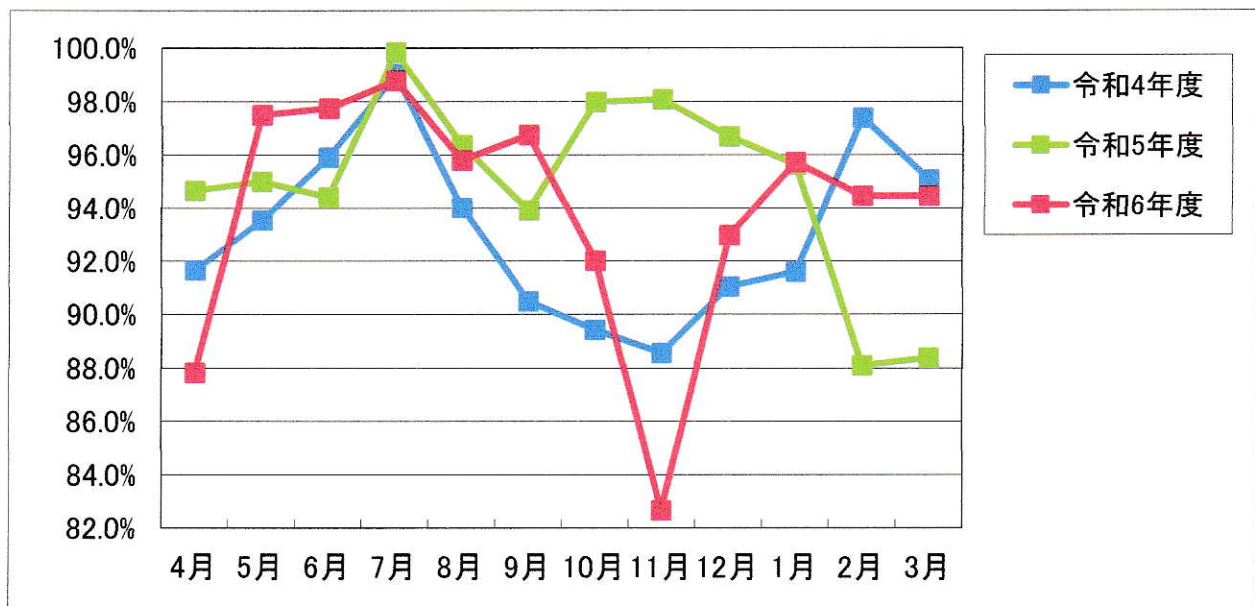


※短期入所空きベッド利用43日含む

《 ユニット型 》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和4年度	1100	1160	1151	1228	1166	1086	1109	1063	1129	1136	1091	1179	13598	1133
	91.7%	94%	96%	99%	94.0%	90.5%	89.4%	88.6%	91.0%	91.6%	97.4%	95.1%	93.1%	93.2%
令和5年度	1136	1178	1133	1238	1195	1127	1215	1177	1199	1186	1022	1096	13902	1159
	94.7%	95%	94%	100%	96.4%	93.9%	98.0%	98.1%	96.7%	95.6%	88.1%	88.4%	95.0%	94.9%
令和6年度	1054	1209	1173	1225	1188	1161	1141	992	1153	1187	1058	1143	13684	1140
	87.8%	98%	98%	99%	95.8%	96.8%	92.0%	82.7%	93.0%	95.7%	94.5%	94.5%	93.7%	93.9%
前年比	-82	31	40	-13	-7	34	-74	-185	-46	1	36	36	-229	-19
	-6.8%	2.5%	3.3%	-1.0%	-0.6%	2.8%	-6.0%	-15.4%	-3.7%	0.1%	6.4%	6.4%	-1.0%	

※R5.2閏年



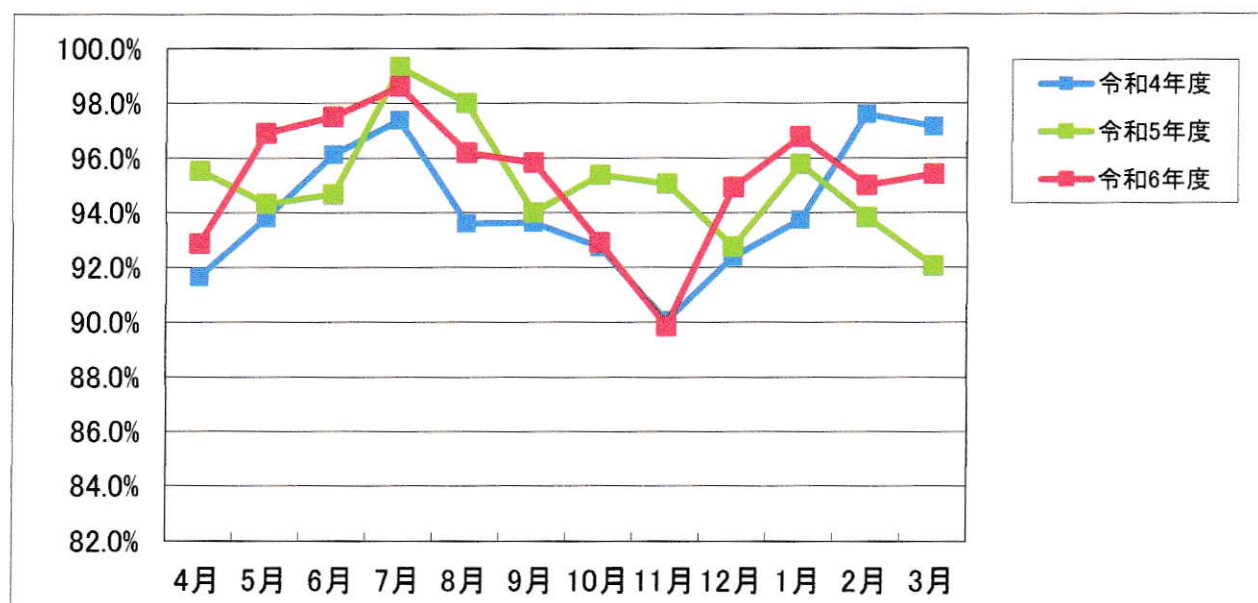
※短期入所空きベッド利用9日含む



《 従来型特養・ユニット型特養 合算 》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和4年度	2,750	2,908	2,884	3,019	2,902	2,809	2,875	2,702	2,864	2,906	2,733	3,012	34,364	2864
	91.7%	93.8%	96.1%	97.4%	93.6%	93.6%	92.7%	90.1%	92.4%	93.7%	97.6%	97.2%	94.1%	94.2%
令和5年度	2,866	2,924	2,840	3,079	3,038	2,820	2,957	2,852	2,875	2,969	2,721	2,854	34,795	2900
	95.5%	94.3%	94.7%	99.3%	98.0%	94.0%	95.4%	95.1%	92.7%	95.8%	93.8%	92.1%	95.1%	95.1%
令和6年度	2,786	3,004	2,925	3,057	2,982	2,875	2,880	2,696	2,943	3,000	2,660	2,958	34,766	2897
	92.9%	96.9%	97.5%	98.6%	96.2%	95.8%	92.9%	89.9%	94.9%	96.8%	95.0%	95.4%	95.2%	95.2%
前年比	-80	80	85	-22	-56	55	-77	-156	68	31	-61	104	-29	-2
	-2.7%	2.6%	2.8%	-0.7%	-1.8%	1.8%	-2.5%	-5.2%	2.2%	1.0%	1.2%	3.4%	0.2%	

※R5.2閏年



※短期入所空きベッド利用52日含む

### 3. アクティビティ・クラブ活動の記録

アクティビティ活動は、感染症対策に留意しながら、各フロア・ユニット毎に実施するなど、活動した。

また、クラブ活動では地域のボランティアさんに講師を担っていただくことで、より専門的な知識や技術がある方から指導を受けることもできていたが、令和6年度においても新型コロナウイルス感染対策ため、ボランティアさんの受け入れができず、活動もできなかった。

昨年に引き続き、書道クラブは実施したいとの入居者の声が複数あったため、月1回、職員が担当し「習字の会」として活動を昨年同様開催している。

入居者からは、全体でのボランティア講師によるクラブ活動の再開を望む声も出ているため、今後も活動再開については調整していきたい。

#### (1) アクティビティ

活 動	場 所	内 容	対 象	年間実施回数
健康なかま	各フロア・ユニット	仲間と体を動かして楽しむ(歌やゲームなど)	本人の意思により自分で体を動かすことができる方	各フロア・ユニット毎、合間の時間を使って実施
音楽なかま	会議室	音楽を通して仲間との交流を楽しむ	音楽を楽しみたい方、難聴でない方	従来型30回 ユニット24回
学習の会	会議室	学習を通し認知機能の維持向上を図る	学習への意欲がある方	20回
習字の会	会議室	季節の文字を書き、作品作りを楽しむ	習字が好きな方	11回

#### (2) クラブ

ボランティアによる書道クラブ、生け花クラブの実施はなし



#### 4. 行事参加

##### (1) 施設行事

施設全体行事、各フロア・ユニット行事は、年間行事計画に基づいて実施した。

コロナ禍以前に地域行事としても行っていた法人全体行事の納涼大会は、10月に秋祭りとして再開した。

##### (さくらフロア)

月日	行事名	内容	場所	入居者 参加数
5月25日	誕生日会	4月、5月誕生日の方をケーキでお祝い	談話室	20
6月24日	紫陽花見学	開成町の紫陽花を見学する	上延沢ふれあい公園	6
7月24日	おやつ作り	皆さんでコーヒーゼリーを作り食べる	談話室	20
7月30日	誕生日会	7月誕生日の方をケーキでお祝い	談話室	20
8月24日	夏祭り	盆踊りやアイスを食べ楽しまれる	デイサービス・談話室	18
9月14日	敬老会	節目の祝い・祝い膳を食べる	談話室	19
9月29日	誕生日会	8月、9月誕生日の方をケーキでお祝い	談話室	19
10月27日	おやつ作り	生クリームを使用したおやつ作り	談話室	17
11月15日	誕生日会	10月、11月誕生日の方をケーキでお祝い	談話室	20
12月23日	クリスマス会	ケーキやお菓子を食ベクリスマス会をする	談話室	19
1月10日	お団子作り	どんど焼きのお団子作り	談話室	19
1月19日	誕生日会	12月、1月誕生日の方をケーキでお祝い	談話室	19
2月3日	節分	豆まきをする	談話室	16
3月31日	誕生日会	2月、3月誕生日の方をケーキでお祝い	談話室	20

##### (さつきフロア)

月日	行事名	内容	場所	入居者 参加数
6月26日	紫陽花見学	開成町紫陽花農道で見学	開成町紫陽花農道	5
7月21日	誕生会	6、7月誕生者を全員でケーキを食べ祝う	食堂①・②	20
8月24日	夏祭り	デイサービスで盆踊りなど行う	デイサービス	20
9月14日	敬老の祝い	節目の祝い・祝い膳を食べる	さつき食堂①・②	18
9月21日	誕生会	8、9月誕生者を全員でケーキを食べ祝う	さつき食堂①・②	18
12月21日	クリスマス会	クリスマスケーキを食ベクリスマス気分を出す	さつき食堂①・②	20
1月18日	誕生会	12、1月誕生者を全員でケーキを食べ祝う	さつき食堂①・②	20
2月2日	豆まき	鬼(ワーカー)に豆を投げる	さつき食堂①・②	20
2月23日	宅配弁当	昼食に宅配弁当を食べる	さつき食堂①・②	19
3月22日	誕生会	2、3月誕生者を全員でケーキを食べ祝う	さつき食堂①・②	20
3月24日	桜花見	桜の花見	福沢公園	4

##### (ひまわりフロア)

月日	行事名	内容	場所	入居者 参加数
5月12日	誕生会	5月誕生日の方をケーキでお祝い	食堂	17
5月26日	おやつ作り	皆さんであんみつを作り食べる	食堂	20
6月12日	紫陽花見学	開成町の紫陽花を見学する	上延沢ふれあい公園	9
7月21日	誕生会	6月、7月誕生日の方をケーキでお祝い	食堂	19
8月18日	おやつ作り	かき氷作りを行う	食堂	20
8月28日	夏祭り	盆踊りやアイスを食べ楽しまれる	食堂	20
9月14日	敬老の御祝い	お祝い膳を頂く	食堂	20
10月20日	おやつ作り	焼き芋作りを行う	食堂	19
10月27日	誕生会	8月、9月、10月誕生日の方ケーキでお祝い	食堂	18
12月19、21日	柚子湯	入浴時柚子を入れ季節を感じて頂く	浴室	20
12月22日	クリスマス会	ケーキを食ベクリスマス会を行う	食堂	20
1月26日	誕生会	11月、12月、1月誕生日の方をケーキでお祝い	食堂	19
2月2日	節分	鬼に向かい豆まきを行う	食堂	18
2月26日	桜見学	福沢公園の春めき桜を見学	福沢公園	5
3月30日	誕生会	2月、3月誕生日の方をケーキでお祝い	食堂	18

## (夏みかんユニット)

月日	行事名	内容	場所	入居者参加数
4月7日	桜見学	施設駐車場で桜を鑑賞する。	施設駐車場	7
5月20日	誕生日会	誕生日をフロアでお祝いしケーキを食べる。	夏みかん食堂	9
5月3～6日	菖蒲湯	菖蒲湯を入浴日に行う。	1F機械浴・中間浴	9
7月15日	おやつ作り	フロアでおやつを作り入居者の皆様に食べる	夏みかん食堂	9
8月24日	夏祭り	盆踊りや模擬店を楽しむ	デイサービス	10
9月14日	敬老会	長寿を祝う	夏みかん食堂	10
10月19日	誕生日会	誕生日をフロアでお祝いしケーキを食べる	夏みかん食堂	9
12月16日	クリスマス会	クリスマスをケーキを食べ楽しんでもらう	夏みかん食堂	9
2月3日	節分	節分の豆まきを行う	いこいの広場	10
3月	桜見学	4月へ延期		

## (花みずきユニット)

月日	行事名	内容	場所	入居者参加数
5月2～4日	しょうぶ湯	入浴時にしょうぶ湯を用意し季節感を感じて頂く	機械浴 中間浴	10
5月28日	誕生日会	ケーキを用意し誕生日をお祝いする	はなみずきリビング	10
6月29日	紫陽花見学	外出し紫陽花を見学する。外の空気を感じて頂く	施設内駐車場	10
7月25日	おやつ作り	季節感のある手作りおやつを作り提供する	はなみずきリビング	10
8月24日	夏祭り	施設内にて夏祭りを行い盆踊りを楽しめる	デイサービス	9
9月14日	敬老会	お祝い膳の提供、節目の方へのお祝いする	花みずきリビング	10
11月30日	おやつ作り	秋にちなんだ手作りおやつを作り提供する	花みずきリビング	7
12月8日	誕生日会	ケーキを用意し誕生日をお祝いする	花みずきリビング	8
12月18日	クリスマス会	クリスマス会にてケーキを食べる	花みずきリビング	9
2月3日	節分	豆まきを行い季節感を感じて頂く	いこいの広場	9
2月22日	宅配すし	宅配すしを用意し普段と違う食事を楽しむ	花みずきリビング	8
2月23日	誕生日会	ケーキを用意し誕生日をお祝いする	花みずきリビング	8

## (むくげユニット)

月日	行事名	内容	場所	入居者参加数
6月11日、22日	紫陽花見学	車にて紫陽花見学へ行かれる。施設内の紫陽花を見に行く。	あじさいの里、施設敷地内	7
7月26日	おやつ作り	おやつ作り似てかき氷を提供する。	むくげリビング	10
8月24日	夏祭り	デイサービスにて夏祭りを実施。出店、盆踊りを実施。	デイサービス	10
8月30日	誕生会	誕生会にてケーキを召し上がる。	むくげリビング	10
9月14日	敬老会	節目の年を迎えた方へのお祝いを行う。職員の出し物(踊り)を披露する。	むくげリビング、いこいの広場	10
10月18日	おやつ作り	おやつ作りでプリンアラモードと一緒に作り提供する。	むくげリビング	9
11月30日	宅配寿司	昼食に宅配寿司を頼み提供する	むくげリビング	8
12月24日	クリスマス会、誕生会	クリスマス会、誕生会を実施。ケーキや軽食を提供する。	むくげリビング	10
2月3日	節分	節分の豆まきを行う	むくげリビング	10
2月26日	誕生会	誕生会にてケーキを召し上がる	むくげリビング	10
3月21日	宅配寿司	昼食に宅配寿司を頼み提供する	むくげリビング	10
3月25日	桜見学	福沢公園へ桜を見に行かれる	福沢公園	3



(かりんユニット)

月日	行事名	内容	場所	入居者 参加数
4月5日	誕生日会	4, 5月生まれの利用者のお誕生日を祝う	かりん食堂	9
5月3～5日	しょうぶ湯	菖蒲湯を楽しんで季節を感じていただく。	各入浴場	10
5月14日	宅配寿司	宅配寿司を注文して楽しんでいただく。	かりん食堂	10
6月11日	あじさい観賞	外出して紫陽花を観賞して頂く	開成町ふれあい公園	4
7月16日	おやつ作り	たこ焼きづくりを楽しむ	かりん食堂	10
8月13日	スイカ割り	スイカ割りを楽しんで頂く。	かりん食堂	10
8月24日	夏祭り	施設内にて夏祭りを実施。出店、盆踊りを実施。	デイサービス	10
9月14日	敬老会	節目の年を迎えた方へのお祝いを行う。職員の出し物(踊り)を披露する。	かりんリビング、いこいの広場	10
10月15日	誕生日会	10月生まれの利用者のお誕生日を祝う	かりん食堂	10
11月8日	秋フルーツ	秋のフルーツを提供して楽しんでいただく。	かりん食堂	10
12月17～19日	ゆず湯	ゆず湯で入浴して季節を感じていただく。	各入浴場	10
12月24日	クリスマス会	12月1月生まれのお誕生日会と共にクリスマスを楽しむ。	かりん食堂	10
2月21日	誕生日会	2月3月生まれのお誕生日をお祝いする	かりん食堂	10

(2)法人行事

10月5日(土)13時半～15時半、法人全体行事として初めて「秋祭り」を西側駐車場にて実施した。  
当日は雨が断続的に降る天気だったため、特養入居者は会場に面した2階会議室で楽しまれた。  
一部の入居者は家族付き添いで会場に出向かれ、模擬店や出し物を楽しまれたが、全体的に人出が少なく終わっている。

今回の経験を踏まえ、特養入居者も地域の方と交流し、お祭りを楽しめる内容を改めて探していきたい。

(3)家族のつどい

例年4月と10月の年2回実施している「家族のつどい」であるが、令和7年4月の料金改定を踏まえ、同年3月に前倒しで家族への説明会として実施した。

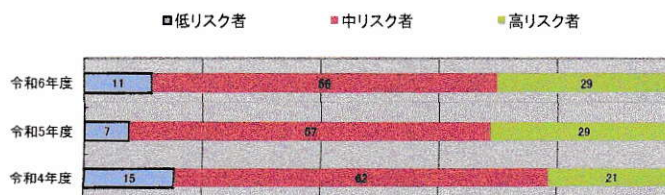
日時	行事名	内容	開催場所	入居者 参加数	家族 参加数
4月20	つどい	感染症発生・料金変更について	ケアセンター1F	0	27
10月26日	つどい	マイナ保険証について	ケアセンター1F	0	11
3月15日	つどい	医療体制変更・利用料金変更について	ケアセンター1F	0	23

## 5. 栄養ケア・マネジメント

### ①低栄養状態の比較(各年度3月31日現在)

単位:人

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
低リスク者	15	7	11
中リスク者	62	57	56
高リスク者	21	29	29



データより、令和6年も高リスクと判断される入居者が多くみられた。

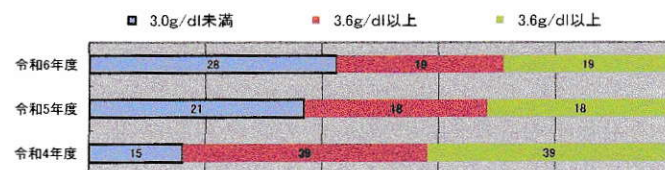
(1)アルブミンが低値(1、2点台)であったり褥瘡の持ち込みのため最初から高リスクで入居される方がさらに増加している。  
 (2)加齢や病気の進行による体重急減少からの減少率悪化、加齢に伴う内臓の吸収力の低下からくるアルブミン値の低下が主な理由と思われる。都度状態変化(褥瘡、体重減少率、食事摂取量、BMIなど)に合わせてリスク判定し、必要な対応は実施している。ALB値が3.6g/dl以上であり体調や体重が概ね維持されていても、BMI等から低リスク評価とはならない入居者も一定数みられてる。

### ②血清アルブミン値の比較

単位:人

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3.0g/dl未満	15	21	28
3.0g/dl～3.5g/dl	41	59	50
3.6g/dl以上	39	18	19

※各年の健康診断時の値



アルブミン値は健康診断時以外にも医師の判断により必要時に測定しており、また入院の際の血液検査の結果からも都度栄養マネジメントにも反映してプランを作成している。低アルブミン値の方には、食事提供・摂取状況の確認、プロテイン付加等の対応を実施。その後の採血結果次第で付加対応が解除になる方もおり、一定の効果は得られていると思われる。

アルブミン値3.6g/dl以上の方の割合は令和5年度とほぼ変わらないが、3.0g/dl未満の割合は増加している。

疾患や加齢、服用されている薬により各種の対応を行っても低アルブミンの改善が難しい方も増加している。

### 《栄養ケア・マネジメント 報告》

- ・高リスク者の増加に伴い、各個人の状況はフロアからの情報を含めサービス担当者会議や医療ケア向上委員会を通し、多職種で把握し対応を検討した。
- ・高リスク者には、食事提供内容や方法、提供栄養量の調整、嗜好品の取り入れ、栄養補助食品など、様々な対応を検討している。また、特に急激なレベル低下みられる方は改善や維持ができるよう予防策を講じ、早期対応を心掛けた。
- ・ターミナルケア対応の入居者には、体調を考慮のうえ、要望される品をできるだけ摂取できるよう対応している。
- ・間食・嗜好品等の提供を要望される方には既往(エネルギー制限・塩分制限等)や体調等も考慮し、内容や量などを検討・調整して提供している。
- ・体調・摂食状況の変化に合わせこまめな食事形態・食事内容の変更等行っている。
- ・食事委員会でもより入居者に安全に、好まれる食事や嗜好品等を検討するなどし、施設全体で取り組むよう努めた。

### 《食事・行事食報告》

- ・毎月、季節に合わせたイベント食を提供。7・9・10月は加算食献立のため利用者に普通食献立とどちらかを選択していただき提供した。
- ・8月・10月の行事食提供の際はコロナの感染対策しているフロアもあったが、当該フロアを含め行事食の提供はできた。
- ・行事食では普段と違う食材の提供もある為、委託会社と必要に応じて献立内容の検討や確認を行った。都度利用者の感想、スタッフへの聞き取りをし、今後への工夫点について把握するようにし対応を行った。
- ・食材費の高騰や社会情勢からくる商品の終販や食材の欠品等に対しては、委託会社と相談し都度調整してできるだけの対応を行った。
- ・米飯・粥ともに主食碗を新調した。

### 《コロナ対策》

- ・厨房の感染対策として体調管理の徹底、体調不良時は出勤しないなど施設に合わせた対応を行った。
- ・入居者が陽性確認の際は配下膳のルート変更、手指・台車などの消毒、使い捨て食札の利用などの対応を実施した。



### Ⅲ. 通所介護・予防通所介護

新規利用者獲得の為に営業活動に努めた。新規利用者は確実に上がり特にケアセンター草の家との連携が深まった一方、入居・入院等の致し方ない理由の利用終了者も増加した。利用者及び家族のニーズ把握に努め、各居宅介護支援事業所との連携を行った。

#### 1 利用者状況

(令和7年3月現在)

##### (1) 登録数

登録者数	29 名	男性	9 名	女性	20 名
------	------	----	-----	----	------

##### (2) 介護度

事業対象者	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5
0 名	0 名	2 名	10 名	8 名	7 名	1 名	1 名

平均介護度	2.0
-------	-----

##### (3) 生活状況

独居	夫婦(2人)	同居(2人以上)	施設	軽費
8 名	3 名	11 名	0 名	7 名

##### (4) 歩行状況 【施設内での状況】

独歩	杖歩行 歩行器 手引き 付添い	車椅子
6 名	19 名	4 名

##### (5) 食事形態

※利用者の好みや状態に合わせて、摂取しやすい食事の提供を考えて支援した。

主食		副食				提供なし
ご飯	お粥	普通	一口	キザミ	超キザミ	
25 名	4 名	21 名	5 名	3 名	0 名	0 名

##### (6) 排泄状況 【施設内での状況】

※自宅ではオムツを使用している方も、トイレに座れる方は二人介助などの対応をし、トイレを使用。

自立	一部介助	全介助
25 名	1 名	3 名

##### (7) 入浴状況

※普段一般浴の方も、その日の状態により特浴入浴することもあり。

###### ① 利用状況

一般浴	機械浴	入浴なし
17 名	12 名	0 名

###### ② 介助状態

自立	一部介助	全介助
0 名	22 名	7 名

## (8) 利用回数

※臨時利用で登録されている方は含まず。

週1回利用	週2回利用	週3回利用	週4回利用	週5回利用
9 名	15 名	2 名	1 名	1 名

## 2 利用率

## (1) 利用者介護度別延べ利用日数・利用率・平均介護度

	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	延べ 利用日数	利用率	平均 介護度
4月	0日	5日	0日	42日	94日	59日	4日	0日	204 日	46.4%	2.1
5月	0日	4日	0日	54日	101日	54日	0日	0日	213 日	46.3%	2.0
6月	0日	4日	0日	47日	89日	48日	4日	0日	192 日	48.0%	2.0
7月	0日	5日	0日	69日	84日	77日	9日	0日	244 日	53.0%	2.1
8月	0日	4日	0日	51日	85日	57日	12日	0日	209 日	47.5%	2.1
9月	0日	6日	0日	43日	64日	50日	9日	0日	172 日	41.0%	2.1
10月	0日	4日	5日	50日	68日	79日	5日	0日	211 日	45.9%	2.1
11月	0日	0日	4日	64日	60日	74日	13日	0日	215 日	51.2%	2.1
12月	0日	0日	4日	57日	53日	48日	13日	0日	175 日	39.8%	2.1
1月	0日	0日	4日	64日	40日	31日	5日	0日	144 日	36.0%	1.8
2月	0日	0日	7日	70日	42日	39日	5日	0日	163 日	40.8%	1.8
3月	0日	0日	13日	60日	54日	29日	4日	13日	173 日	41.2%	2.0
									延べ利用日数	2315 日	
									年平均利用率	44.74%	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日数	22	23	20	23	22	21	23	21	22	20	20	21
	440	460	400	460	440	420	460	420	440	400	400	420

## (2) 新規・停止状況

## 【1】新規利用者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4	3	2	3	1	1	3	1	0	3	4	2	27

## 【2】利用停止者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4	1	1	2	1	3	2	2	1	2	3	2	24

## (3) 入浴利用者

	一般浴	機械浴
4月	77 件	89 件
5月	96 件	90 件
6月	91 件	86 件
7月	95 件	106 件
8月	91 件	99 件
9月	74 件	83 件
10月	92 件	84 件
11月	90 件	79 件
12月	92 件	72 件
1月	64 件	68 件
2月	81 件	66 件
3月	94 件	75 件
合計数	1037 件	997 件



### 3 行事・活動について

毎月、職員間で行事や活動へのプランを話し合い、利用者様が関心を持ってくださる様な簡単に楽しく取り組める活動内容を実施して来た。外出レクリエーションや流しそうめん、おやつ作りなど新たな取り組みを実施した。その様子を広報紙「Time's」に掲載し、ご家族様にご覧頂いたり、外部居宅事業所へ配布を行った。

#### (1)年間行事実施内容

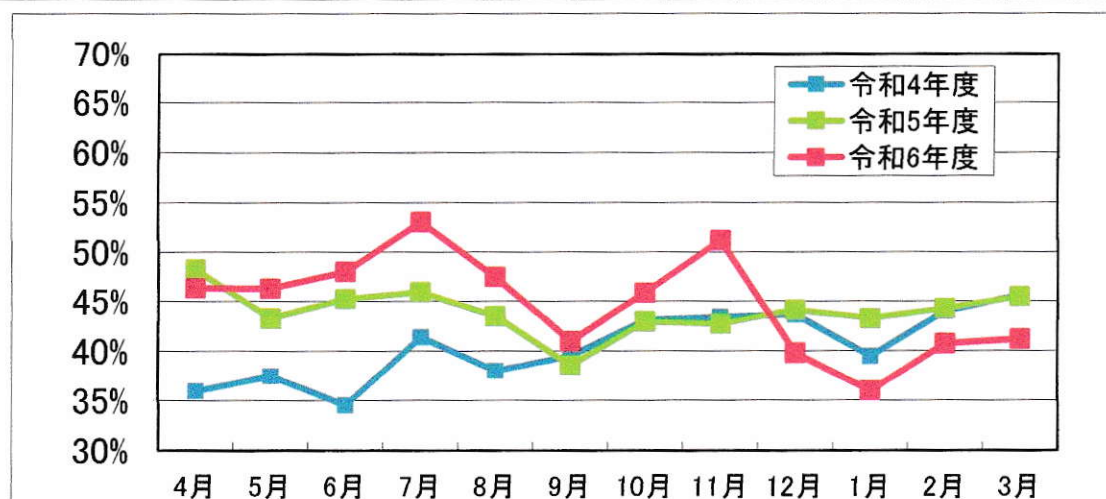
	施設外行事	施設内行事
4月	お花見(桜)	大判貼り絵(桜)
5月		母の日プレゼント・大判貼り絵(藤)・ギター生演奏会・鯉のぼりつるし
6月	お花見(アジサイ)	父の日プレゼント・大判貼り絵(トトロ)・七夕用飾り
7月		大判貼り絵(風鈴)・流しそうめん・スイカ割り
8月		大判貼り絵(海・向日葵)・夏祭り
9月		敬老会(プレゼント)・アイスクリーム屋さん・大判貼り絵(ぶどう)
10月	お花見(酔芙蓉)	大判貼り絵(お月見)
11月		大判貼り絵(菊)・お菓子作り(スイートポテト)
12月		クリスマス飾り・クリスマスリース作成・大判貼り絵(リース)
1月		大判貼り絵(絵馬)・利用者様100歳のお祝い会
2月		節分(豆まき)・大判貼り絵(梅と椿)
3月	お花見(桜)	大判貼り絵(お雛様)・雛飾り

#### (2)個別・グループ活動

塗り絵、脳トレ、的当て、ボーリング、輪投げ、玉転がし、絵合わせ、ゴルフゲーム、テーブルホッケー、トランプゲーム、ビンゴゲーム、オセロ、YouTube(歌謡・口腔体操・リズム体操)  
先生指導の体操

#### (3)デイスサービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和4年度	151 36.0%	165 37.5%	152 34.5%	174 41.4%	175 38.0%	174 39.5%	181 43.1%	191 43.4%	192 43.6%	158 39.5%	176 44.0%	210 45.7%	2099 41%	174.9 41%
令和5年度	193 48.3%	199 43.3%	199 45.2%	193 46.0%	200 43.5%	162 38.6%	189 43.0%	188 42.7%	203 44.1%	173 43.3%	186 44.3%	191 45.5%	2276 44%	189.7 44%
令和6年度	204 46.4%	213 46.3%	192 48.0%	244 53.0%	209 47.5%	172 41.0%	211 45.9%	215 51.2%	175 39.8%	144 36.0%	163 40.8%	173 41.2%	2315 45%	192.9 45%
前年比	11 -2%	14 3%	-7 3%	51 7%	9 4%	10 2%	22 3%	27 8%	-28 -4%	-29 -7%	-23 -4%	-18 -4%	177 3%	3 1%



## IV. 居宅介護支援事業

-令和6年度上げた目標に対する評価について-

●介護保険制度の基本理念である、一人一人の尊厳の保持と自立支援にむけて、当事者である本人、家族の意向を踏まえ、本人の持てる力を引き出しながら、住み慣れた地域で暮らせるよう、各医療機関や事業所と情報の共有化を図り連携調整しながら支援することができた。

また基幹型地域包括支援センターをはじめ、一市三町地域包括支援センターから引き続き契約を更新し、新規の依頼が継続できており、困難事例など請けるなど顔の見える関係性が継続できている。

●今年度も、家族側の問題や生活困難者やヤングケアラー難病なども含め複合的に支援を必要とするケースが増えている状況にあり、介護保険外との連携を密にしながら、我々支援者側の内省とともに積極的に学びの機会に参加し、実践に生かしていくことの必要性を感じた。

●BCPや感染症、虐待などの施設内外研修や、介護支援専門員協会による講習会、ケアマネ連絡会など医療介護連携センター主催の他職種連携に関わる事例検討会研修など定期的に参加できている。

●法定研修で導入された、「適切なケアマネジメント手法」を活用し、各ケースの視点を深掘りできる分析力をもてるよう活用し、ケアマネジメント力を高め、より良い生活を営めるよう今後とも支援していく。

また、介護支援専門員の育成を図り、各地域包括支援センター、医療関係機関や施設などから継続して依頼を受け、地域に必要とされる、より良い居宅事業の継続と法人内の円滑なチームワークにより、今後も地域に貢献していけるよう努めていく。

●居宅事業所の人員が2人となり、実績を着実に上げることができた。

●在宅で生活するにあたり、サービス調整するも、病状や家族の状況により在宅生活が限界に達するケースもある。施設利用希望となっても、施設が満床であったり、施設が空いていても住所地の関係で対象外で利用できないなど、地域資源の数や内容、また法制度の縛りなどの課題も見られた。

### 1. 居宅介護サービス計画の作成状況

#### ①介護度別利用者状況

	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
居宅介護支援	要 介 護 1	9	12	17	17	16	18	12	31	35	33	35	35	270	22.5
	要 介 護 2	9	11	13	14	15	16	17	13	11	13	10	9	151	12.6
	要 介 護 3	4	3	4	5	5	5	8	10	12	14	13	10	93	7.8
	要 介 護 4	2	2	2	3	3	4	2	1	3	2	2	3	29	2.4
	要 介 護 5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3	0.3
	計	24	28	36	39	39	43	40	55	61	62	61	58	546	45.5
予防支援	要 支 援 1	0	1	1	1	1	1	1	1	3	3	2	2	17	1.4
	要 支 援 2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	3	2	10	0.8
	計	0	1	1	1	0	1	1	2	5	5	5	4	27	2.3
	総合支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	合 計	24	29	37	40	39	44	41	57	66	67	66	62	573	47.8



## ②保険者別利用状況

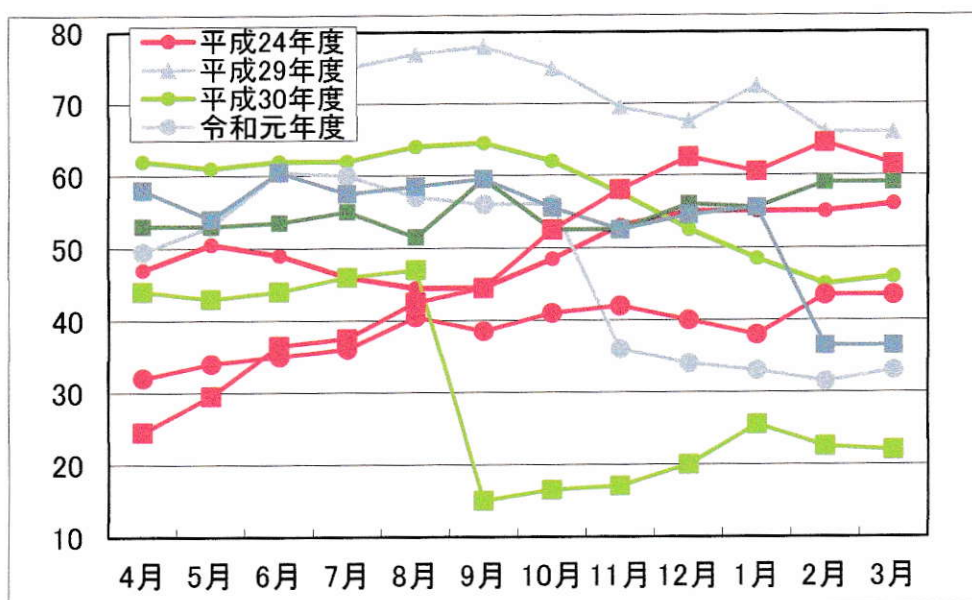
	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
居宅介護支援	南 足 柄 市	10	13	21	23	26	28	33	36	38	41	35	37	341	28.4
	大 井 町	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	16	1.3
	開 成 町	1	1	1	1	1	1	1	7	9	9	8	8	48	4.0
	松 田 町	8	10	10	10	8	10	10	9	9	8	12	8	112	9.3
	山 北 町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	そ の 他	2	2	3	3	2	3	3	3	3	2	3	4	33	2.8
	計	24	29	37	40	40	44	49	57	61	62	60	59	562	46.8
予防支援	南 足 柄 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5	0.4
	開 成 町	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	7	0.6
	松 田 町	0	0	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	12	1.0
	山 北 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	そ の 他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0.2
	計	0	1	1	1	1	1	1	2	4	5	5	4	26	2.2
総合支援事業	南 足 柄 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	大 井 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	開 成 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合 計		24.0	29.5	37.5	40.5	40.5	44.5	49.5	58.0	63.0	64.5	62.5	61.0	575.0	47.9

## ③サービス種類別利用状況

	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
居宅介護支援	通 所 介 護	9	13	13	13	17	17	18	25	25	24	27	27	228	19.0
	地 域 密 着 型 通 所 介 護	2	3	5	7	9	13	13	14	12	12	17	14	121	10.1
	通 所 リ ハ	1	1	1	3	4	4	5	5	0	5	5	6	40	3.3
	訪 問 介 護	9	10	11	14	15	17	17	19	16	13	16	16	173	14.4
	訪 問 看 護	7	5	6	9	12	12	11	12	14	12	16	17	133	11.1
	訪 問 リ ハ	1	1	2	3	2	2	2	1	1	1	1	1	18	1.5
	訪 問 入 浴	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	0.3
	福 祉 用 具	19	20	27	30	31	32	35	30	35	34	35	34	362	30.2
	短 入 生	3	1	3	4	6	6	6	6	10	8	10	8	71	5.9
	短 老 健	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	認知症通所介護	1	3	5	2	1	2	2	2	2	1	0	0	21	1.8
	訪問介護看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	計	53	57	74	85	98	105	109	115	115	110	127	123	1171	97.6
予防支援	予 防 短 入 生	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0.2
	予 防 福 祉 用 具	0	0	1	1	1	1	1	1	3	3	4	6	22	1.8
	予 防 認 通 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	予 防 訪 問 リ ハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	予 防 訪 問 看 護	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3	0.3
	計	0	0	1	1	1	1	1	2	5	5	4	6	27	2.3
総支	通所型(独自)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	5	12	1.0
	訪問型(独自)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合 計		53	57	75	86	99	106	110	117	120	115	131	129	1198	99.8

#### ④利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和4年度	58	54	60.5	57.5	58.5	59.5	55.5	52.5	54.5	55.5	36.5	36.5	639	98.3
令和5年度	44	43	44	46	47	15	16.5	17	20	25.5	22.5	22	363	55.8
要介護	24	29	36	37	42	44	52	57	60	58	62	58	559	86.0
要支援	1	1	1	1	1	1	1	2	5	5	5	7	31	4.8
令和6年度	24.5	29.5	36.5	37.5	42.5	44.5	52.5	58	62.5	60.5	64.5	61.5	575	88.4
前年比	-20	-14	-7.5	-8.5	-4.5	29.5	36	41	42.5	35	42	39.5	212	32.6



#### 2.介護認定調査委託請け負い件数

区 分		県内	県外	計
在 宅		7	2	9
病 院		14	1	15
施 設	軽費ホーム	4	0	4
	特養ホーム	6	0	6
	老健	3	0	3
	グループホーム	0	0	0
	特定施設(有料)	17	2	19
	その他	1	0	1
計		52	5	57



## V. 地域福祉

令和6年度は、新型コロナウイルスなど感染症に留意しつつ、ボランティアや実習生等の受け入れ、地域の催し物への参加など、地域交流を再開することができた。

ボランティアとしては、初めて市内の足柄高校美術部の作品を借用し、展示をさせていただいた。先方から生徒さんから作品説明しながら交流の機会を持ちたいと話をいただき、実現することもできた。

また、恒例となっている南足柄市健康フェスタでは「認知症チェック&相談」ブースを設け、多くの方に参加いただいたり、新たに南足柄市高齢介護課から市民向け講座への助っ人依頼があり、「認知症の方への声かけ、見守り訓練」に2名参加している。

令和7年度も感染対策を講じつつ、地域の方と交流の機会を設け、出向く活動にも力を入れていきたい。

### 1. ボランティアの受け入れ

下記の活動の中で数組のボランティアを受け入れすることができたが、まだまだボランティアの受け入れ状況がコロナ禍以前にまで戻っていない。引き続き、受け入れ体制を整えていく。

#### 【ボランティア実績】

- ・暁の星(繻い物) 年4回
- ・アンサンブルマトウーロ(弦楽器演奏) 年1回
- ・足柄高校美術部(作品借用・展示と生徒訪問) 年2回(訪問は1回)
- ・ふくざわ保育園(太鼓演奏) 年1回
- ・班目自治会(秋祭り設営等) 年1回

### 2. 施設介護実習・体験学習 受け入れ状況

コロナ禍以前は、松田町の高校生ボランティア体験の学生を受け入れていたが、令和5年度に引き続き、6年度も受け入れなし。

教職員免許取得の介護等体験介護等体験の実習については、令和6年度は4名の大学生の受け入れを実施した。

次年度も、社会福祉法人という社会的役割から、実習生の受け入れなど積極的に行っていく。

### 3. 介護サービス相談員受け入れ

南足柄市、開成町の2市町村から介護サービス相談員の派遣を受け、定期的な受け入れを行うことができた。コロナ禍以前は、松田町からも介護相談員の派遣を受けていたため、受け入れに向け、今後調整を行っていく。

## VI. その他

### 1. 外部研修実績表

	研 修 参 加 名	参加延人数	延日数 (うちオンライン)
ケアマネジメント	介護支援専門員研修会他	3	3 ( 1 )
認 知 症 ケ ア	認知症介護実践者研修他	3	6 ( 0 )
給 食 ・ 栄 養	特定給食施設従事者講習会他	5	5 ( 3 )
感 染 症 対 策	感染症対策研修会	1	1 ( 1 )
ユ ニ ッ ト ケ ア	ユニットケア施設管理者研修会	1	3 ( 3 )
介 護 技 術	介護技術講習会他	4	4 ( 1 )
災 害 対 策	BCP策定後の訓練に関する研修他	2	2 ( 1 )
経 営 ・ 管 理	介護報酬改定の活かし方他	3	3 ( 2 )
事 例 発 表 会	小田原・足柄地区事例発表会	3	3 ( 0 )
計		25	30 ( 12 )



## 2. 各種委員会報告

### (1) 食事委員会

#### ① 委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月16日	年間行事予定、母の日行事食、新茶について	6名
5月21日	行事食について、新茶の提供、嗜好飲料の調査	9名
6月18日	7月行事食(七夕そうめん、土用の丑の日)、事例検討	9名
7月16日	8月行事食、敬老会、行事加算食	7名
8月20日	敬老会、行事食、イベント食事伝票提出について、夏祭りについて	6名
9月17日	10月加算食(行事食)について、検食簿の記入について さくらフロアの食堂	7名
10月15日	行事食握り寿司、秋の実弁当、おやつを止める時について	6名
11月19日	12月行事食、1月行事食	5名
12月17日	クリスマス行事食、正月行事食・どんどん焼き	7名
1月21日	2月行事食、プロテイン使用について、草の家の食器について	8名
2月18日	3月行事食、宅配寿司等の提供、カレーライスの提供	6名
3月18日	7年度年間活動予定、行事食の予定、一年間の振り返り お花見行事食	7名

#### ② 一年を通しての成果、次年度に向けて

改善点があればすぐに対応できたため、スムーズな食事の提供できた。今後も、入居者においておいしい食事が提供できるよう、次年度も迅速に対応していく。

### (2) 介護力向上委員会

#### ① 委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月4日	各フロアより困難事例報告	8名
5月2日	各フロアより困難事例報告	8名
6月6日	各フロアより困難事例報告	7名
7月4日	各フロアからの困難事例より、今年度の研修内容検討	7名
8月1日	今年度の研修内容決定	8名
9月5日	大王製紙との打ち合わせ内容確認	7名
10月3日	各フロアより困難事例報告	7名
11月7日	各フロアより困難事例報告	7名
12月5日	大王製紙研修実施。(おむつ・パットの基本的な使用方法)	8名
1月9日	研修を実施しての振り返り 研修を受けてからの各フロアでの見直し報告	7名
2月6日	研修後の各フロアでの見直し。各フロアより困難事例報告	7名
3月6日	今年度の振り返りと、次年度への課題	4名

#### ② 一年を通しての成果、次年度に向けて

担当した研修を外部専門家に依頼したことで、おむつやパットの使用方法について、より専門的な知識や、基礎を再確認することができた。各フロア内でも研修については評価された。ただ、研修を受けた職員より基本だけではなく、個別対応や使用方法の応用など、より詳細な知識について希望が上がっており、次年度も外部研修を検討していく。

### (3)環境整備委員会

#### ①委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月19日	年間予定を話し合い書面に起こす	8名
5月17日	さくらフロア(居室清掃)	6名
6月21日	1・2F機械浴清掃	5名
7月19日	さつきフロア(居室清掃)	4名
8月16日	ひまわりフロア(居室清掃)	3名
9月20日	ユニット2階むくげ	5名
10月18日	ユニット2階かりん	7名
11月15日	ユニット1階夏みかん	5名
12月20日	ユニット1階花みずき	5名
1月17日	1・2F機械浴清掃	4名
3月21日	デイサービスセンター清掃	3名

#### ②一年を通しての成果、次年度に向けて

活動成果として、日ごろ掃除が行き届かない場所に重点を置き、清掃を実施できた。次年度は、清掃に使用する道具が少なかったため、必要物品の購入を検討していく。

### (4)防災委員会

#### ①委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月12日	役割分担と年間計画の検討 BCP読み合わせ	14名
5月10日	非常食の確認 6月防災訓練に向けて	14名
6月14日	非常用発電機確認 BCP机上訓練	16名
7月12日	6月25日実施防災訓練の振り返り 防災キャビネット確認、BCP読み合わせ	17名
8月9日	火災報知器誤作動発生の振り返り 防災キャビネット確認、総合訓練に向けての内容確認	18名
10月11日	防災訓練内容確認 防災頭巾、防災キャビネット確認	15名
11月8日	11月総合訓練について確認 防災物品在庫確認、不足物品の購入検討	16名
1月10日	ひだまり防災キャビネット確認 BCP机上訓練	12名
2月12日	委託業者と事業所の連携について確認、非常用発電機確認 夜間通報訓練について、BCP机上訓練実施について研修動画	12名
3月14日	夜間通報訓練について、防災キャビネット備品在庫管理 一年間の振り返り	12名

#### ②一年を通しての成果、次年度に向けて

次年度への課題として、非常時に委託業者との連携をスムーズにし、食事の提供が滞りなく行えるよう、連携を図っていく。併せて、BCP策定が終了し、実際に即した内容となっているかを、防災訓練などを通じてブラッシュアップしていく。



(5) 拘束虐待防止委員会

① 委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月3日	自己点検チェックシートの振り返りと今後の取り組みについて	12名
5月1日	高齢者施設における虐待防止にかかる一斉点検実施結果書改善した方が良いケアについて	13名
6月5日	向精神薬の状況について	10名
7月3日	防火扉の使用について 不適切なケアについて	11名
8月7日	個別ケース確認(向精神薬内服) 拘束対応の事例	9名
9月4日	先月の委員会にて上がった利用者の経過 10月の拘束・虐待防止研修について 利用者への声掛けが不適切ではないか	10名
10月2日	入居者への対応について	6名
11月6日	さつき入居者について 夏みかん入居者の骨盤骨折について 言葉遣い・接遇について	9名
12月4日	さくら入居者へ対応した事例について検討	9名
1月8日	対応についての疑問点 課題(腹巻き・チュニック・バスタオル巻き)	7名
2月5日	グレーゾーンの対応(声掛けの方法、入居者への対応方法)	5名
3月5日	自己点検チェックリスト、1年間活動の振り返り グレーゾーンの対応(声掛けの方法、入居者への対応方法) 今後に向けて	7名

② 一年を通しての成果、次年度に向けて

次年度は、引き続き職員への研修やフロア会議などを通して、本委員会が中心となり、啓発活動を行うことで、グレーゾーンへの対応も含めた拘束・虐待を予防していく。また、職員が働きやすい環境について検討していくことで、拘束・虐待が発生しにくい環境を整備していく。

(6) 研修委員会

① 委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月1日	4月ビデオ研修担当者割り振り 5月の研修内容検討	7名
5月6日	5月の研修内容について(緊急時対応マニュアル) 6月、7月の研修内容検討(食中毒予防、リスクマネジメント)	6名
6月3日	6月の研修内容について(食中毒予防) 7月、8月の研修内容検討(リスクマネジメント、認知症ケア)	6名
7月1日	7月の研修内容について(誤薬リスクについても含める) 8月、9月、12月の研修内容検討(認知症ケア、感染症対策、介護技術)	5名
8月5日	9月の研修内容について(感染症対策) 10月、11日の研修内容検討(拘束予防・虐待防止、口腔ケア)	7名
9月3日	9月の研修内容について(感染症対策でマニュアルを持参してもらう) 10月、11日の研修内容検討(拘束予防・虐待防止、口腔ケア)	7名
10月7日	11月の研修内容検討(口腔ケア)	6名
11月4日	12月の研修内容について(大王製紙職員による研修) 1月の研修内容検討(ストレスケア)	6名
1月6日	1月の研修内容について(ストレスケア) 2月、3月の研修内容検討(ターミナルケア、拘束・虐待防止)	6名
2月3日	2月の研修内容について(ターミナルケア) 3月の研修内容検討(拘束・虐待防止)	7名
3月3日	来年度の研修検討	9名

② 一年を通しての成果、次年度に向けて

1年を通して毎月職場内研修をすることや、ひだまりと草の家に分けてビデオ研修が受けられるように整えられた。次年度は、外部研修動画を施設内研修にうまく取り入れていくことが課題としてあげられる。

(7)褥瘡委員会

①委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月16日	褥瘡発生状況報告 褥瘡リスクのある入居者	6名
6月14日	褥瘡発生状況報告 褥瘡リスクのある入居者	5名
8月8日	褥瘡発生状況報告 褥瘡リスクのある入居者	7名
10月10日	褥瘡発生状況報告 その他	5名
12月12日	褥瘡発生状況報告 褥瘡リスクのある入居者 その他	5名
2月13日	褥瘡発生状況報告 褥瘡リスクのある入居者 その他	6名

②一年を通しての成果、次年度に向けて

今年度、重度の褥瘡は比較的少なかった。また、重症の褥瘡の方は、前施設や入院中に発生し、施設に持ち込まれたケースだった。ただ、施設内で処置や除圧などの対応にて、緩やかに改善傾向が見られている。その他、栄養状態が悪い方、大腿骨頸部骨折の保存療法により臥床時間が長くなったり、体動の少なくなった方など、悪化のリスクが高い方の治癒に遷延が見られているが、比較的重症化せずに経過している。施設内の褥瘡対策が実施できているためと考えられる。次年度も引き続き高リスク者の除圧と皮膚の観察・保清などの褥瘡対策の継続をしていく。

(8)医療ケア向上委員会

①委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月20日	高リスク者等確認、ターミナルケア振り返り その他	6名
5月22日	高リスク者等確認、ターミナルケア振り返り その他	6名
6月19日	高リスク者等確認、意向確認が必要と思われる入居者 ターミナルケア振り返り、その他	5名
7月17日	高リスク者等確認、ターミナルケア振り返り その他	5名
8月21日	高リスク者等確認、意向確認が必要と思われる入居者 ターミナルケア振り返り	6名
9月18日	高リスク者等確認、その他	6名
10月16日	高リスク者等確認 ターミナルケア振り返り	5名
11月20日	高リスク者等確認、ターミナルケア振り返り、その他	6名
12月18日	高リスク者等確認、ターミナルケア振り返り、その他	6名
1月15日	高リスク者等確認、約束処方箋について ターミナルケア振り返り、嘱託医変更	5名
2月19日	高リスク者等確認 ターミナルケア振り返り	6名
3月19日	高リスク者等確認、ターミナルケア振り返り 口腔ケア加算に伴う対応と書類	6名

②一年を通しての成果、次年度に向けて

年間を通して、体重の推移や摂食状況、体調面・精神面の変化などから、現状の問題点や今後の方向性など個別ケースの話し合いができた。今後も情報の共有や適した対応に繋げていきたい。

ターミナルケアの振り返りでは、当該フロア・ユニット会議での介護職の振り返りをはじめ、多職種の思いを共有した。反省点や良かった点を話し合うことで、今後の対応に活かしていきたい。

来年度、嘱託医や協力歯科医院が変更になる事で、新たな課題等が見える事も考えられる。問題があれば適宜、委員会内でも話し合い、問題解決に努めていきたい。



(9)感染症対策委員会

①委員会開催状況

開催日	主な検討事項	参加人数
4月15日	周辺の感染症流行状況の確認 草の家ひまわりフロアで起こったケース検討 マニュアル見直しについて 草の家さくらフロアにて新型コロナ発症ケース机上訓練	10名
7月12日	神奈川県・施設内の感染状況確認 抗原検査キットについて N95マスクについて	11名
7月18日	施設内新型コロナ感染状況	5名
8月22日	施設内新型コロナ感染状況 夏祭りの実施	7名
8月30日	施設内新型コロナ感染状況	5名
9月24日	ユニット1F感染状況確認と対応確認 デイサービス感染状況確認	5名
9月30日	ユニット1Fの対応について	6名
10月21日	神奈川県内感染症発生状況 施設内新型コロナ感染状況 BCPに基づく感染症対策シミュレーション	10名
10月23日	感染状況確認 対応検討	6名
1月20日	感染症流行状況確認 感染症発生時の対応確認 職員向け検査キット配布確認	10名

②1年を通しての振り返り、次年度に向けて

今年度もノロウイルス感染症の発生はなかった。インフルエンザは国内での流行が見られたが、施設内では数名の職員の罹患のみで、重症化もなく入居者の罹患はなかった。新型コロナウイルス感染症については10月にむくげフロアで、職員1名と入居者7名の感染拡大みられたが、重症者が出る事なく収束した。その他、各フロアで職員・入居者の単発的なコロナ陽性者は出たが、重症化はせず感染拡大することなく収束した。次年度も「感染者が出てしまうのは仕方がなく、感染拡大させない事が大切である」という五類以降後の考えに基づき、引き続き適切なマスクの着用、手指消毒、換気などの基本的な感染予防策を継続していく。また、定期的な訓練やシミュレーションを実施していく。

～事故・苦情への対応について～

- 【苦情受付記録】

・会議開催数 13回 (臨時1回含む)  
・速報回覧数 1件  
・市町村報告 29件 (病院受診、服薬に関する事故は保険者である南足柄市、対象となる市町村へ報告)

	転倒	転落	接触による外傷	内出血	剥離	窒息	異食	利用者間トラブル	行方不明	誤薬誤配	その他	合計
R4年度	65	47	5	182	38	0	6	0	0	6	5	354
R5年度	55	29	9	143	49	2	3	1	0	8	3	302
R6年度	102		162			0	0	0	2	8	5	279

28



【 項目別件数 】

フロア名	件数	リスクレベル		時間		事故、インシデント	
さくら	30	1 ひやり	250	6:00～8:59	44	転倒・転落	102
さつき	42	2 事故	516	9:00～11:59	66	接触による外傷	162
ひまわり	38	3 事故	87	12:00～14:59	63	誤薬・誤配	8
夏みかん	40	4 事故	172	15:00～17:59	33	利用者間トラブル	0
花みずき	38	5 事故	20	18:00～20:59	37	窒息	0
むくげ	39			21:00～23:59	10	異食	0
かりん	52			0:00～5:59	26	行方不明	2
						熱傷	0
						その他	5
計	279	計	279	計	279	計	279

所見		場所		状況		要因	
内出血	115	本人居室	132	介助中	93	他者の介助中で関わらなかった	38
剥離・擦過傷	50	トイレ	21	自立動作中	132		
美・捻挫・脱臼	16	食堂	26	レクリエーション中	0	見守り不足	10
熱傷	0	機械浴室	39	トイレ中	6	自立動作により事故につながった	143
呼吸困難	0	個浴室	14	着脱時	27		
骨折	9	リビング	31	移動時	9	介助方法が不適切だった	80
精神的な苦痛	0	その他	16	その他	12		
その他の外傷	7					ひやりで挙げていた 内出血が広がった	8
外傷なし	82						
計	279	計	279	計	279	計	279

【 フロア別発生件数 】

	転倒・転落	接触による外傷	誤薬・誤配	利用者間トラブル	窒息	異食	行方不明	熱傷	その他	計
さくら	18	10	2	0	0	0	0	0	0	30
さつき	13	27	0	0	0	0	0	0	2	42
ひまわり	17	16	4	0	0	0	0	0	1	38
夏みかん	4	34	0	0	0	0	1	0	1	40
花みずき	7	31	0	0	0	0	0	0	0	38
むくげ	24	11	2	0	0	0	1	0	1	39
かりん	19	33	0	0	0	0	0	0	0	52
計	102	162	8	0	0	0	2	0	5	279

【 時間別発生件数 】

	転倒・転落	接触による外傷	誤薬・誤配	利用者間トラブル	窒息	異食	行方不明	熱傷	その他	計
6:00～8:59	17	21	5	0	0	0	1	0	0	44
9:00～11:59	18	47	0	0	0	0	1	0	0	66
12:00～14:59	21	41	0	0	0	0	0	0	1	63
15:00～17:59	10	20	1	0	0	0	0	0	2	33
18:00～20:59	15	18	2	0	0	0	0	0	2	37
21:00～23:59	5	5	0	0	0	0	0	0	0	10
0:00～5:59	16	10	0	0	0	0	0	0	0	26
計	102	162	8	0	0	0	2	0	5	279

【要因別発生件数】

	転倒・転落	接触による外傷	誤薬・誤配	利用者間トラブル	窒息	異食	行方不明	熱傷	その他	計
他者の介助中で関わらなかった	33	4	0	0	0	0	1	0	0	38
見守り不足	6	4	0	0	0	0	0	0	0	10
自立動作により事故につながった	57	82	0	0	0	0	1	0	3	143
介助方法が不適切だった	6	64	8	0	0	0	0	0	2	80
ひやりで挙げていた内出血が広がった	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8
計	102	162	8	0	0	0	2	0	5	279

【事故の主な傾向と対応策の検討】

○事故レベル3～5について

- ・発生件数は昨年と比べ23件減少。事故種別としては接触による外傷・窒息・異食・利用者間トラブルが減少したが、転倒・転落、行方不明は増加している。
- ・転倒・転落は、自立動作のある入居者が増えた事により増加傾向で、センサーを使用しているも、他の入居者対応中にて間に合わず起きてしまったケースも多く挙げられた。
- ・今年度は重篤事故である市町村報告が29件(第2報告含め)。骨折9件(転倒・転落にて3件、接触による外傷6件)、誤薬・誤配8件(与薬する方の間違い6件、与薬量間違い1件、配薬忘れ1件)と挙げられた。
- ・骨折は9件中6件が自立動作時、2件が介助方法が不適切、1件が見守り不足によるケースだった。フロアを中心に多職種含め周知し、対策として人感チャイムやセンサー類、また眠りスキャン(既存)を使用していたが、対応が重なったり、動きが早く結果的に防げないケースが多く挙げられた。
- ・誤薬誤配に関しては8件でマニュアル通りの対応ができていなかった(配薬時・与薬時・与薬後の名前確認不足により他の方へ与薬してしまった。頓服薬の与薬量を間違えた。配薬し忘れた。)ことで起きたケースだった。

○事故レベル2について

- ・全体で516件の報告が挙がっており、そのうち400件が接触による外傷、内出血であった。多くが2cm未満の内出血であるが、異食や誤嚥しかけたケースなど、重大事故に繋がりがかねない内容もあり、状況確認や再発防止に取り組んだ。
- ・レベル2の内容は通常家族連絡はしていないが、内容によっては状況と対応の仕方を報告している。

○ひやりはっについて

- ・全体で250件の報告があり、多くが転倒や転落に繋がる可能性があるケース(歩行付き添いが必要な方が一人で歩行していた、車椅子のブレーキがかかっていなかった等)であった。
- ・事故発生件数に比べてひやりはっの数が少なく、リスクマネジメントとしては本来ひやりはっが数多く挙げられていなければならない。気づいた時にすぐに記録ができる体制作りも改めて考えたい。
- ・今後も毎月のリーダー会議にて重篤事故の報告や事故の傾向を伝え、各フロアへ周知する事でスタッフ個々の意識を高め、事故軽減や減少に繋がるようにしていく。



### 3. 会議実施状況

会議名	参加対象者	実施回数
幹部会議	班長以上	11
リーダー会議	リーダー以上	23
フロア会議	各フロア職員	毎月1回(随時)
ユニット会議	各ユニット職員	毎月1回(随時)
入退居調整会議	委員	毎月1回(随時)
サービス担当者会議	各職種	254

### 4. 職員在籍状況(令和7年3月31日現在)

	特別養護老人ホーム(従来型)		特別養護老人ホーム(ユニット型)		ケアセンター(通所)		介護サービスセンター(居宅介護支援)		合 計	
	常勤 (非常勤) <派遣> 【技実生】	計	常勤 (非常勤) <派遣> 【技実生】	計	常勤 (非常勤)	計	常勤	計	常勤 (非常勤) <派遣> 【技実生】	計
施 設 長	1	1	従来型と兼務		—	—	—	—	1	1
生 活 相 談 員	1 ( 1 )	2	"		1	1	—	—	3	3
介護支援専門員	1	1	"		—	—	2	2	3	3
介 護 職 員	16 ( 10 ) < 3 > 【 2 】	31	13 ( 5 ) < 1 > 【 2 】	21	2 ( 1 ) —	3	—	—	31 ( 16 ) < 4 > 【 4 】	55
医 師	(委託1)	( 1 )	従来型と兼務		—	—	—	—	(委託1)	( 1 )
看 護 職 員	2 ( 4 ) < 1 >	7	"		特養と兼務		—	—	2 ( 4 ) < 1 >	7
栄 養 士	1	1	"		—	—	—	—	1	1
機能訓練指導員	(兼務1)	(兼務1)	"		( 1 )	1	—	—	( 1 )	1
事 務 員	2	2	"		—	—	—	—	2	2
そ の 他	( 2 )	2	"		—	—	—	—	( 2 )	2
合 計	24 ( 18 ) < 4 > 【 2 】	48	13 ( 5 ) < 1 > 【 2 】	21	3 ( 2 ) < 0 > —	5	2	2	42 ( 25 ) < 5 > 【 4 】	76

## 5. 令和6年度 保守点検

設 備 名	点検内容	日 付	実施業者	備 考
エレベーター				
特養棟	通常定期点検	毎月1回	富士エレベーター(株)	
ケアセンター棟	〃	毎月1回	〃	
ユニット棟	通常定期点検・遠隔点検	隔月(交互)	フジテック(株)	
合併浄化槽				
ユニット棟・ケア棟	定期点検(汚泥処理)	R6.6.13	あしがら環境保全(株)	
〃	〃	R6.9.7	〃	
〃	〃	R6.12.12	〃	
〃	〃	R7.3.10	〃	
ボイラー				
軽費棟(SKボイラー)	給湯・暖房用ボイラー点検整備	R7.3.25	(株)湘南汽缶	
消防用設備				
全館	定期点検	R6/9/25 ~27	(株)三栄防災	
	〃	R7/3/12 ~14	〃	
地下タンク貯蔵所				
	地下タンク等定期点検	R6.10.3	(株)三栄防災	灯油
館内消毒		4/16.5/21. 6/19.8/21. 10/22.11/19. 12/3.2/18		
全館	ゴキブリ・ネズミ調査・駆除		(株)横浜サンセルフ	年間スケジュールに基づく
専用水道(井戸)				
井戸処理水	9項目(一般細菌他)	毎月1回	(株)ウェルシイ三菱ケミカルアクアソリューションズ(株)	50項目実施月は除く
〃	50項目(一般細菌・塩素酸・化合物他)	3ヵ月毎		5月・8月 11月・2月
井戸原水	2項目(大腸菌他)	3ヵ月毎		5月・11月・2月 (8月は除く)
〃	40項目(大腸菌・一般細菌他)	年1回		8月



## 6. 令和6年度 防災訓練報告

令和6年6月25日	◎防災訓練(消火訓練・避難訓練・通報訓練)
10:00～11:00	<div>1 想定・・・日中時間帯震度6強、それに伴う施設館内停電</div> <div>2 内容</div> <div>①震度6強、建物自体に大きな損傷はないが、停電、断水が発生。</div> <div>②地震が発生した場合の安否・情報伝達を確認する。</div> <div>③停電発生時の初動・情報伝達確認</div> <div>④受傷者の確認・危険個所の確認・報告(ガラスの破損棚の転倒、エレベーター内に閉じ込め有無など)</div> <div>3 災害時自動通報連絡電話通話確認</div> <div>4 講評……………理事長</div>
令和6年11月13日	◎地震・火災訓練(通報訓練)
10:00～11:00	<div>1 想定・・・日中時間帯震度6強、それに伴う施設館内停電及び火災発生(初期消火で鎮火)</div> <div>2 内容</div> <div>①震度6強、建物自体に大きな損傷はないが、停電が発生。</div> <div>②地震、停電発生に伴う安否・情報伝達の確認。</div> <div>③ひだまり1階洗濯室から火災が発生したと想定し、消防署・職員への連絡系統・招集、招集</div> <div>④非常通報装置による消防への通報訓練、コールバックへの対応訓練</div> <div>⑤ガスの屋外元栓の場所確認</div> <div>3 講評……………理事長</div> <div>4 各職員への安否確認メール配信</div>
令和7年 3月 27日	◎夜間火災訓練(通報訓練)
10:30～11:30	<div>1 想定……………夜間帯に1階洗濯室より火災発生</div> <div>2 内容</div> <div>①ひだまり1階洗濯室から火災が発生したと想定し、消防署・職員への連絡系統・招集、招集</div> <div>②近くの非常ベル作動(押す)することによる消防への通報訓練、コールバックへの対応訓練</div> <div>③安否確認メール送信 (24時までに出社可能者への依頼含む)</div> <div>④BCP発動したと想定の上、初動の確認、復旧への動きについて机上訓練</div> <div>3 災害時自動通報連絡電話通話確認</div> <div>4 講評……………理事長</div>